

東北地方 1 か月予報

(10月2日から11月1日までの天候見通し)

平成22年10月1日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

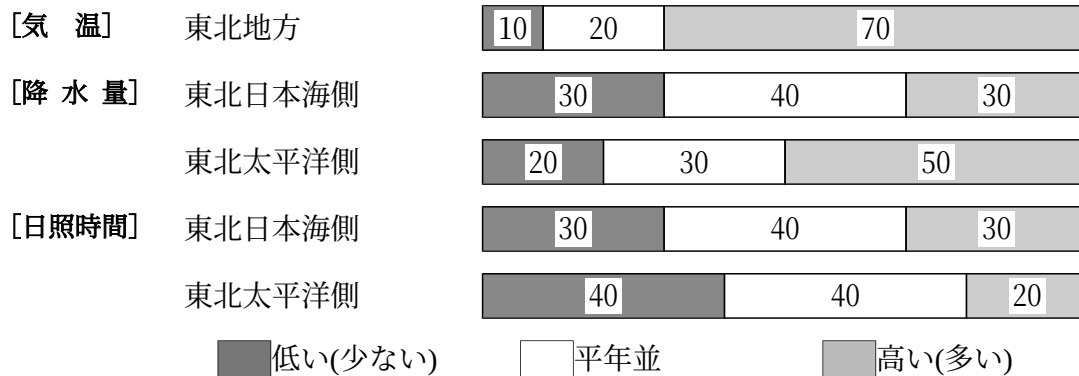
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

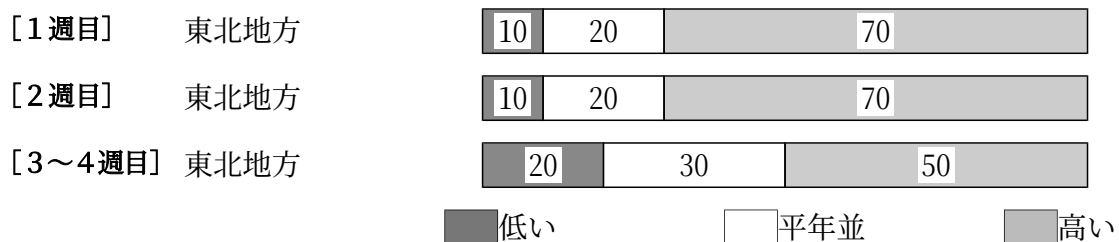
向こう1か月の平均気温は、高い確率が70%です。降水量は、東北太平洋側で多い確率が50%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率が70%です。2週目は、高い確率が70%です。3～4週目は、高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月 2日(土)～11月 1日(月)
1週目 : 10月 2日(土)～10月 8日(金)
2週目 : 10月 9日(土)～10月15日(金)
3～4週目 : 10月16日(土)～10月29日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月8日
3か月予報：10月25日(月) 14時

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	12.3	107.7	151.0	14.8	13.3	11.2
深浦	13.1	162.9	133.8	15.4	14.0	12.1
むつ	12.0	114.7	159.2	14.4	12.9	10.9
八戸	12.5	78.2	163.5	14.9	13.4	11.4
秋田	13.4	158.8	145.9	15.8	14.3	12.3
盛岡	11.5	98.5	148.4	14.1	12.6	10.3
大船渡	13.5	142.7	147.1	15.8	14.5	12.5
宮古	12.9	110.0	156.2	15.1	13.8	11.8
仙台	14.6	102.2	152.0	16.9	15.5	13.5
石巻	14.0	104.6	159.4	16.3	15.0	12.9
山形	13.0	77.4	130.7	15.5	14.0	11.7
新庄	12.1	155.1	103.4	14.7	13.1	10.9
酒田	14.4	173.9	140.9	16.8	15.4	13.4
福島	14.5	97.2	140.4	16.9	15.5	13.4
若松	12.9	77.3	119.3	15.7	14.1	11.7
白河	13.0	110.5	144.4	15.3	13.9	11.9
小名浜	15.9	153.4	155.8	18.0	16.8	14.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.3	80～109	96～104
東北日本海側	-0.6～+0.3	86～110	96～103
東北太平洋側	-0.4～+0.3	67～116	97～105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.7～+0.6	-0.5～+0.4
東北日本海側	-0.5～+0.6	-0.7～+0.6	-0.5～+0.4
東北太平洋側	-0.5～+0.6	-0.7～+0.6	-0.5～+0.4

<参考資料（利用上の注意）>

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成22年10月1日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（10月2日～11月1日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。なお、期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率が70%です。降水量は、東北太平洋側で多い確率が50%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目（10月2日～10月8日）：

明日（2日）は晴れますが、期間の前半は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は晴れる日がある見込みです。

気温は、高い確率が70%です。

2週目（10月9日～10月15日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

気温は、高い確率が70%です。

3～4週目（10月16日～10月29日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。気温は、高い確率が50%です。

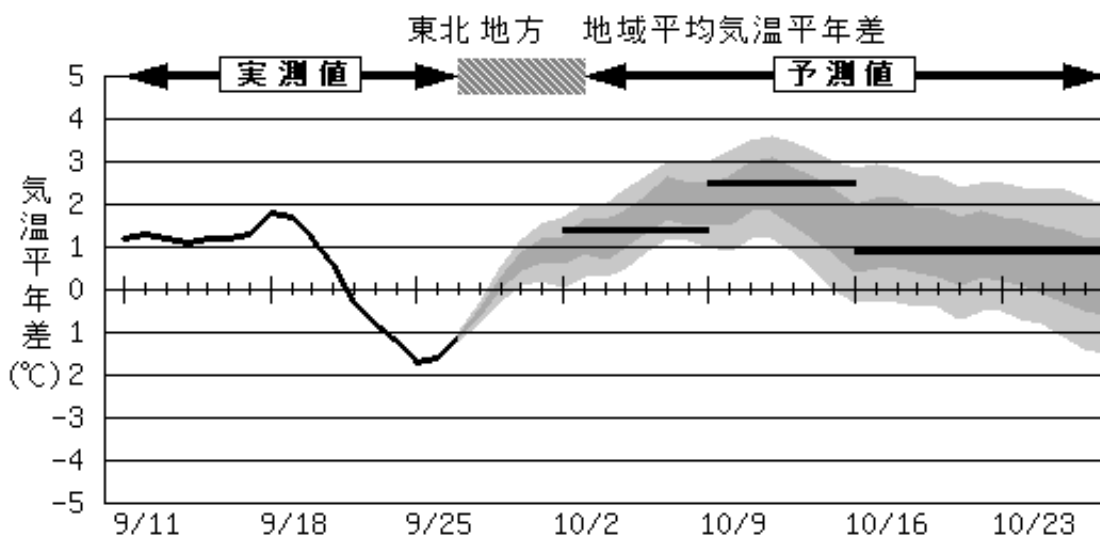
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
15.4	11.9	14.7	12.6	15.3	9.4	15.7	6.9	13.4	8.5	14.5	6.4

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに平年を上回る予想となっている。



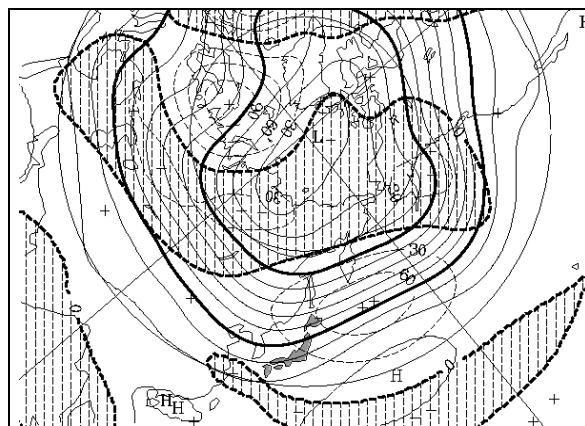
- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅（濃い陰影の範囲）と、信頼の程度が70%の幅（濃い陰影と薄い陰影の範囲）を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1 か月平均と 1, 2 週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1 か月平均: 日本付近は北海道の東に中心をもつ明瞭な正偏差におおわれる。一方東シナ海には負偏差域が見られ、西谷傾向となる。高温だが、東北太平洋側は低気圧や前線の影響を受けやすい。

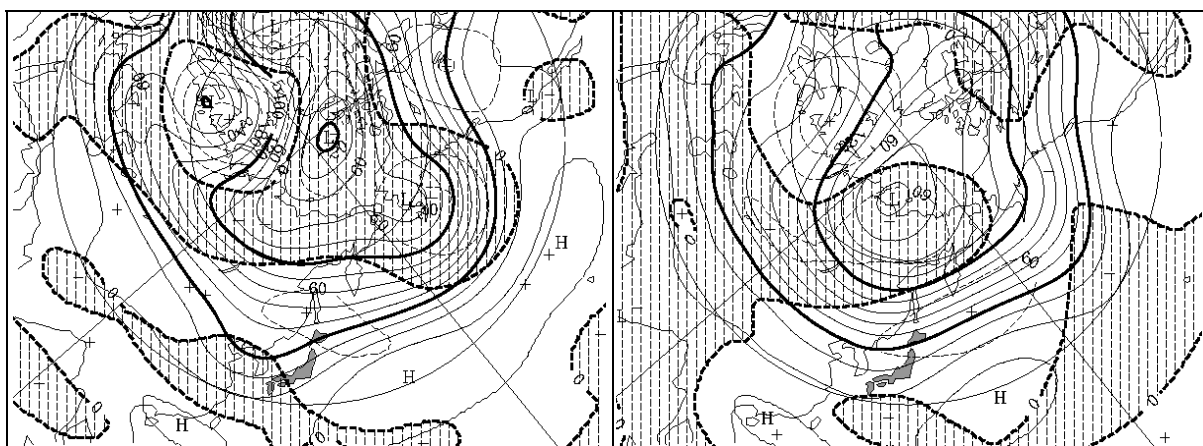
1 週目: 日本付近は北日本に中心をもつ正偏差におおわれる。一方東シナ海付近は負偏差で、西谷傾向となる。高温だが、東北太平洋側は低気圧や前線の影響を受けやすい。

2 週目: 日本付近は北日本の東海上に中心をもつ正偏差におおわれ、高温が予想される。東シナ海の谷は浅くなり、東北地方太平洋側でも天気は周期的に変わる見込み。



1 か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は 1, 2 週目と同じ。ただし偏差の間隔は 30m。



1 週目平均 500hPa 予想天気図

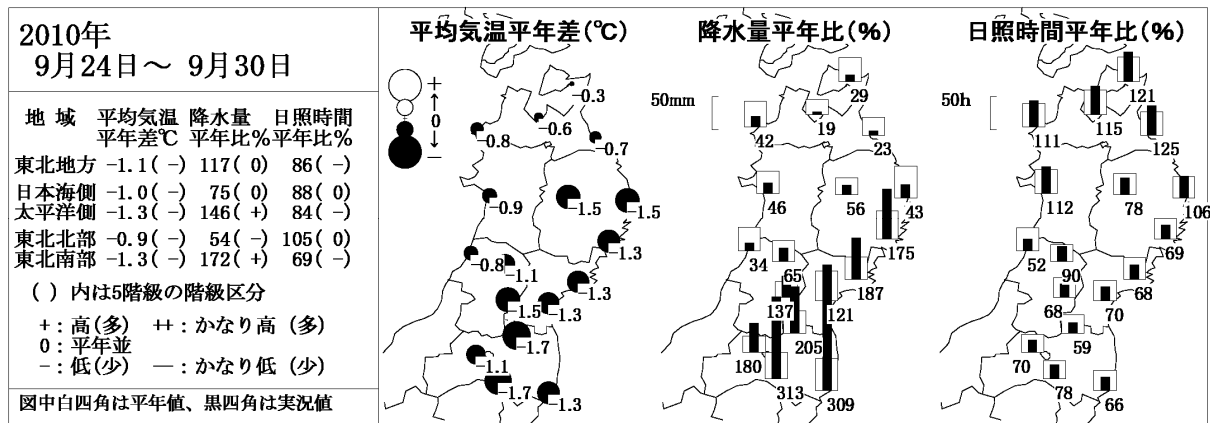
2 週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近 1 週間（9 月 24 日～9 月 30 日）の天候の経過

この期間、東北北部は高気圧におおわれ晴れの日が多く、東北南部は前線が日本の南岸に停滞した影響で曇りや雨の日が多かった。25 日は台風第 12 号が三陸沖を北上し、東北太平洋側は雨となった。28 日は低気圧や前線の影響で東北南部を中心に大雨となり、宮城県や福島県で土砂災害や浸水害が発生した。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)